

## 地域の自治会や各団体が協力して開設したコミュニティカフェ

### 1. 団地・住宅地の概要

---

左近山団地（神奈川県横浜市）

【種別】：賃貸・分譲/集合住宅団地

【住戸数】：約 4,800 戸      【入居開始年度】：1973 年～

【交通】：相模鉄道線「二俣川駅」 バス約 20 分

### 2. 取組の概要

---

- 複数の地域の自治会やその他の団体と協力して NPO 法人化し、コミュニティカフェを運営している。

### 3. 取組の背景

---

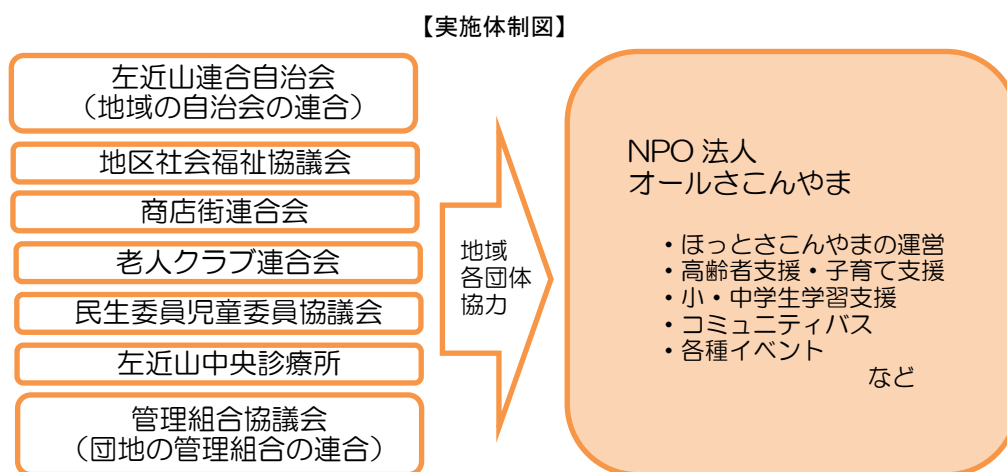
- 横浜市旭区では、各地域の連合自治会がそれぞれ「支えあい連絡会」を実施していたが、2006 年に「地域支えあいネットワーク」と名称を変更した。  
左近山の「地域支えあいネットワーク」は、自治会や管理組合協議会、地域社会福祉協議会、老人連合会、商店連合会、近隣の医療福祉施設などをメンバーとし、現在では UR 都市機構も一員となっている。
- 2011 年に横浜市のコーディネーター派遣を活用し、検討を進め、居場所づくりを行う方針を決めた。
- 実施主体の NPO 法人を設立し、横浜市の補助を受け、2014 年にコミュニティカフェ「ほっとさこんやま」を開設した。

### 4. 特徴

---

- 団地内の多くの地域団体（「5. 組織体制」参照）が連携し、実施主体である「NPO 法人オールさこんやま」を設立している。
- 地元自治体や近隣の大学、UR などとの地域連携を図っている。

## 5. 組織体制



## 6. 取組内容

- 団地商店街の入り口に位置し、1階はコーヒーや定食、ビール等を提供するカフェスペースになっており、2階部分に子育てプレイルームや大学生等が子供の勉強を手助けする教室「さくら教室」、カラオケルーム等として使える多目的室を設けている。
- 1階のカフェは、ボランティアなど地域住民が主体となり、運営している。
- また、商店会のイベントへの参加、親子参加型の昔遊びの会（日曜ほっと）や健康体操などのイベントを実施し、団地住民の居場所づくりを実践している。
- コミュニティカフェの利用者は1日平均60～70人で、多い時には100名以上となることもある。
- 「NPO法人オールさこんやま」は、コミュニティカフェの運営以外にも、高齢者や乳幼児を抱えた方々の外出支援として、団地内でコミュニティバス「おでかけワゴン」の運行も行っている（一般の方々の利用も可）。

【ほっとさこんやまの外観】



#### 【大学連携】

- 近隣の横浜国立大学や UR、横浜市旭区で、大学生による地域支援活動に係る連携協定を締結している。
- 2017 年現在で、自治会活動や商店会のイベントや学習支援「さくら教室」等のボランティア活動に参加することを条件に、4人の横浜国立大学の学生が左近山団地の UR 賃貸住宅に住み、横浜市旭区から地域支援活動日として助成（3万円/（人・月））を受ける仕組みとなっている（2018 年度は追加で1名の受け入れ検討中）。
- 左近山連合自治会は、地域の各種団体を結集した「支えあいネットワーク」を核として、大規模団地の再生に向け、横浜市の支援を受けて取組を進めている。